

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4572100842		
法人名	医療法人社団慶城会		
事業所名	グループホーム仰星台入綾		
所在地	宮崎県日向市東郷町山陰丙1494-1番地		
自己評価作成日	令和2年8月2日	評価結果市町村受理日	令和2年10月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action_kouhyou_pref_search_list_list=true">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action_kouhyou_pref_search_list_list=true</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階		
訪問調査日	令和2年9月9日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所者一人ひとりのニーズに基づき思いや希望を受け止め支援させていただいています。毎日、9時と16時はミーティングを行い情報の共有を行っています。毎月の定例会では行事の計画を立てたり担当職員さんの意見交換の場となっています。皆さんの楽しみである食事では、季節に応じて旬の物を提供して、誕生月の方には事前に食べたい物を聞いてできる範囲で手作りしてお祝いをしています。毎年、大晦日の料理は手作りして皆さんから喜ばれています。職員のレベルアップとして、今年は介護支援専門員の資格取得に取り組んでいます。職員は、笑顔で接し、職員間も信頼関係を保って業務を行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護経験豊富な職員が多く利用者一人ひとりをよく理解し、ケアに努めている。当グループホームは、系列病院や介護老人保健施設等と幅広く連携しており、関連施設に円滑、速やかに避難するなど災害対策に取り組んでいる。利用者の急変時や重度化にも適切な対応ができるよう支援に取り組んでいる。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	本人さんに寄り添い一緒に話を聞いて希望や思いを受け止めて本人さんのペースに合わせて生活の支援に取り組んでいます。	職員が意識できるよう目の届くところに理念を掲示し、利用者により添ったケアの実践ができるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	秋祭りでは地区の方が自主的にホームにいられて庭で子供神輿、婦人部の踊りを披露され夕涼み会では地域の方を招待して交流を図っています。	民生委員や公民館長から地域の情報の提供があり、様々な行事に参加、交流している。職員も地元の踊りを練習するなど、地域の一員として取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方の理解や支援方法を取り上げ報告しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告や意見交換、助言、研修報告行いサービス向上に努めています。	利用者の状況やホームの活動を報告している。委員の方々からは、地域の情報提供を受け運営に反映させるよう取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議開催は文章にて連絡を行い、担当の方が出席されています。常に密な協力関係を築いています。	常日頃より相談や助言を受けるなど良好な関係の構築に取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外門、玄関は開けています。身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束の弊害については全職員が理解している。不穏な状態の利用者には会話しながら行動を共にし落ち着くまで寄り添った自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないように学び注意をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度について関係者と話し合いをしてそれを活用できるように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時管理者が利用者家族に施設のこと不安に思われていることを十分な説明と理解を得ています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に利用者様の体調、日常の様子のご報告を行い、家族の方、利用者様の意見を聞き運営に反映させています。	利用料を持参して頂く形式としており、面会を兼ね意見や要望が言いやすい雰囲気づくりに努めている。利用者の日常生活の要望などを受けてサービスの向上に反映させるよう取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の定例会にて職員、管理者の意見、要望を出してもらい反映しています。	職員の意見や要望を出しやすい環境づくりに努め、意見や要望を運営に反映させるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のステップアップに向けて資格取得に向上心を持てるように職員同士の声かけや環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修には職員の力量を把握し参加に努めていますが現在、コロナウイルス感染症拡大防止のために研修は中止しています。必要であれば理事長に報告しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の管理者会議にて情報交換を行いサービスの質の向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様が安心して過ごして頂けるように要望等不安に思われていることや希望等にしっかり耳を傾けながら支援に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安要望等に話を聞きながら良い関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様と家族と傾聴し情報収集を行い本人様が必要としている支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人に合ったお手伝いのお願いを皆様にしています。労いの声かけをしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の利用者状況報告のお手紙と1か月の様子を写真付きのお便りを同封して本人様の様子を伝えています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方に行きたい場所を伝える対応を行い馴染みの人に会いに行かれたりされています。本人様も大変喜ばれていました。	知人の声を聞きたいと言われる利用者には電話を取り次いだり、馴染みのお店に出かけるなど、利用者が今まで培ってきた生活態様が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	活動時には利用者様同士が共通できる会話や皆さんの好きな歌を取り入れながら共有できるように支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	系列の病院、施設へ移った時は情報を聞いたり機会があれば面会に行ったりします。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	情報を職員で共有し思いや希望を受け止めて支援しています。	日々の関わりの中で一人ひとりの思いを大切に支援するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人さん、家族の方から情報を取り把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタル測定を行い体調の確認を行い、現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定例会、毎日のミーティングで意見交換を行い、情報の共有をしています。	担当制になっており、毎月担当職員評価が行われ、それを基にモニタリングしている。介護計画におけるサービス内容が個人台帳にファイルされており職員は一人ひとりのプランを確認するよう取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿って実践し結果や気づき等を支援経過に記録しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人さん、家族の要望を聞き希望に沿えるように努め支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	系列のグループホームとの合同夏祭りを行い入所様ご家族地域の方との交流を図りふれあいをもって頂いています。地区のお祭りでは来訪され庭での踊りお神輿等楽しい一時を過ごして頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回定期受診を行い日々の生活の様子を主治医に報告しています。体調不良時はその都度主治医に指示を受け受診服薬等を行います。	ほとんどの利用者が、当法人の医療機関をかかりつけ医とし定期受診には職員が同行している。他科受診は家族付き添いとし、ホームでの生活情報などを提供し適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化、気づき等ある時は確認を行い申し送りノート記入。全スタッフで情報を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する際は職員が付き添い本人様の日常の様子を報告しています。入院中の状態確認も行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合本人ご家族様と話し合い要望を確認しています。普段から何でも話合える関係を築いています。	契約時に看取り同意書や確認書で説明をしている。必要に応じ法人の医療機関や老人保健施設と連携し、希望に沿ってチームとしてできる限りの支援を行うよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時は意識、痛み状況の確認をしバイタル測定し主治医看護師に連絡指示を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練を行っています。災害時の避難について確認を行い地区の方の協力要請をお願いしています。	夜間を想定した避難訓練を行っている。また、水害予防として関連施設の応援を受け速やかに高台の施設へ避難するなど災害対策に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者様一人ひとりに寄り添いながら人としてのプライドを損ねることのないよう対応に努めています。	人生の先輩として敬う心を持って接しているが、馴れ合いの中で不適切な言葉遣いにならないよう職員間で意識付けをするよう取り組んでいる。また、利用者の情報は責任ある取り扱いと管理をするよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入所者様が安心して生活できるようなケアを行い本人様の希望や思いの実現に向け援助しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の声に耳を傾けその人がどの様に過ごしたいのかを察知し希望に沿って支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期受診、誕生会等でその人らしい身だしなみができるよう配慮しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	エンドウや筍の皮むきや切り干し大根を作ったりして一人ひとりの好みや力を活かし台拭きや食前の号令をして頂いています。	利用者の誕生日には好みの献立にしたり季節の柏団子作りを楽しんでいる。日ごろから食材の下ごしらえや片付けなど利用者ができることは一緒にいき食事を楽しめるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回食事量のチェックと9時と14時は飲み物とお菓子等を用意しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後は口腔ケアをして頂きその後預かり入れ歯洗浄剤を行っています。ブラッシングが不完全な人には預かり磨き直して消毒しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗を少なくするよう排泄記録表に記入しています。トイレの声かけを時間をみて誘導しています。	居室の壁や洗面台に手摺が取り付けられてあり車椅子利用者でも自力でトイレへの移動可能な仕組みになっている。夜間でも職員の見守りによりトイレでの自立排泄に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表を確認し、個々の排便内容を把握して運動への働きかけや食物の工夫もしています。必要に応じては下剤を使用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を楽しんで頂けるように一人ひとりゆっくり時間をかけて入って頂いています。入浴を拒む利用者様には次の日に変更して入浴を喜んで頂けるよう支援しています。	長湯が好きな人、シャワー浴だけを好む人とそれぞれ、その人に合わせた入浴の支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	傾眠される方には居室で休んで頂くよう声かけを行っています。空調にも配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容を一人ひとり事務所内に掲示して確認しています。薬の変更があった場合、わからない時は再度確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所様一人ひとりに昔の話を傾聴し、趣味、特技等を楽しんで頂けるよう支援することを心掛けています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節事に職員が計画を立てて花見、ドライブ、時には施設の庭に出て冬には日向ぼっこ、春は庭の花を見て楽しんで頂くよう支援しています。	気候の良い日には近隣や園庭の散歩をしている。一人ひとりの希望に沿った外出は家族の協力を得ながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で管理していますが本人様の希望で買い物してきた時等に使っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話をかけてほしいと希望があった時は本人様が直接会話ができるように支援しています。また、家族から手紙が届いた時はすぐに渡すようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間を清潔に保ち換気につけています。ホールでは季節の花を作ったり行事の写真や手作りの作品を貼っています。	リビングには空気清浄器を設置し、随所にソファを配置し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いたり気の合う方は隣に席を設けて会話がはずむように支援しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人様が自宅で使っていた生活用品を持って来て頂き写真を飾ったりお気に入りの洋服をかけたたりして落ち着いて過ごせるようにしています。	居室にテレビや小物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。また、手摺りを取り付け安全に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	レクリエーションやお手伝いをしていただく時等出来ることを促しながら見守っています。		